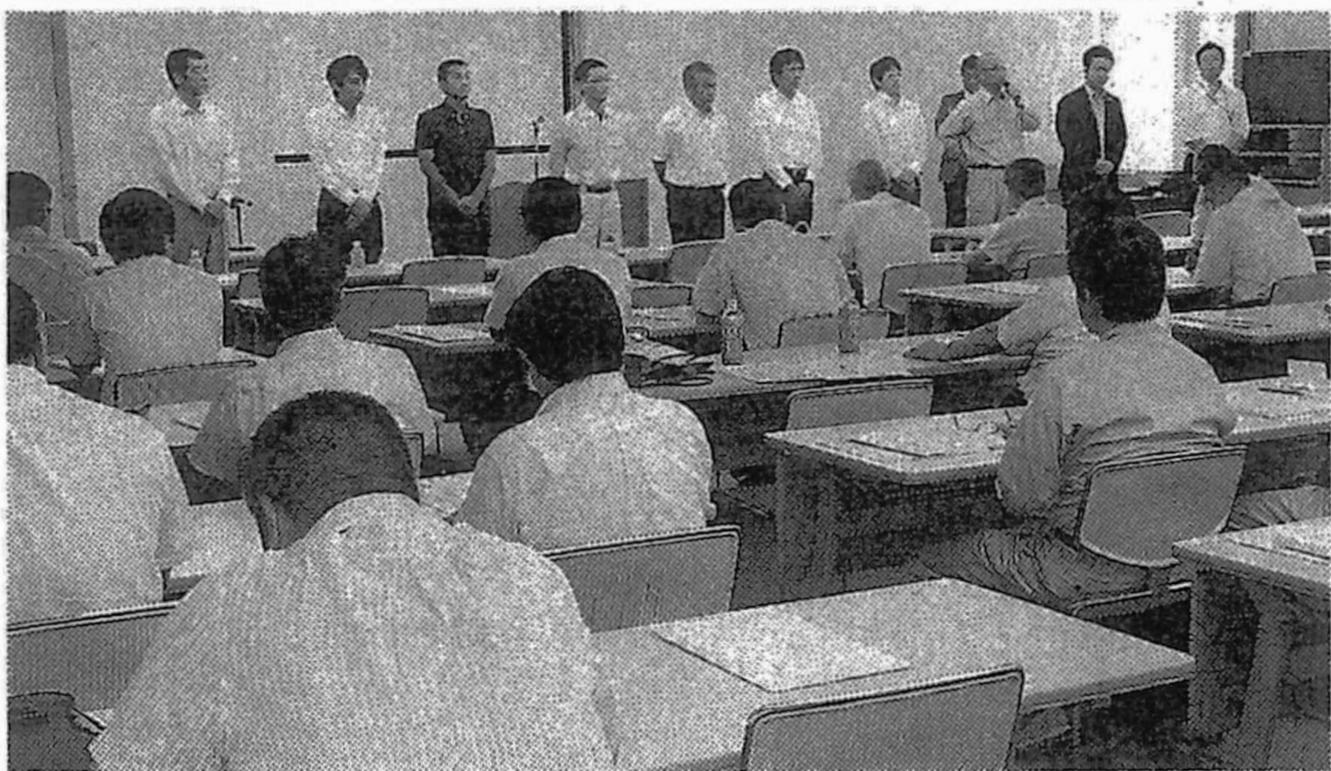


石川会長を再任

現場見学会
会拡充へ

福井県コンクリート診断士会

14年度定期総会開く



福井県コンクリート診断士会(石川裕夏会長)の福井市宝永3丁目の県国際交流会館で

14年度定期総会は24日、

福井市宝永3丁目の県国際交流会館で

開催され、任

期満了に伴う

役員改選では

石川会長(所

属・福井宇部

生コンクリー

ト)を再任し、

現場見学会を

一層拡充させ

る14年度事業

計画案などを

原案通り審議

了承した。

石川会長は

新入会者を紹介した総会=24日、県国際交流会館

冒頭「地域のコンクリー

ト診断士こそが地域構造

物の維持管理を担う」べ

きと同会の社会的な使命

を改めて示し、設立11年

目の抱負をまじえ挨拶。

全役員再任で幹事の江波

清隆(富士土建)、川崎

敏明(帝国コンサルタン

ト)、安本倫章(中央測

量設計)3氏を新たに増

員。また石川会長が理事

で企画部会長を務める一

般社団法人日本コンクリ

ート診断士会の第5回定

時社員総会(5月27日開

催)も報告され、空白地

区の熊本、宮城、香川、

長崎各県で会設立を検討

中とした。

引き続き第57回研修会

が行われ、福井大学大学

院工学研究科講師の鈴木

啓悟氏が「鋼橋の腐食損

傷事例と県下橋梁の付着

塩分量」福井工業大学建

築生活環境学科教授の谷

脇一弘氏が「古代から近

代の橋の文化史、そして

維持管理の時代へ」をテ

ーマに話し、両氏とも最

新の研究成果を踏まえ、

維持管理のますます高ま

る重要性を指摘した。